

災害時アクションカードの使用経験

博樹会 西クリニック

新井孝典、嵯峨照子、一瀬裕二、山川淳一、田口幸雄、渡邊信行、西 隆博

西 忠博

目的

東日本大震災後に災害体験についてアンケート調査を行った結果、多くのスタッフがマニュアル通りに行動できなかったことがわかった。(図-1)

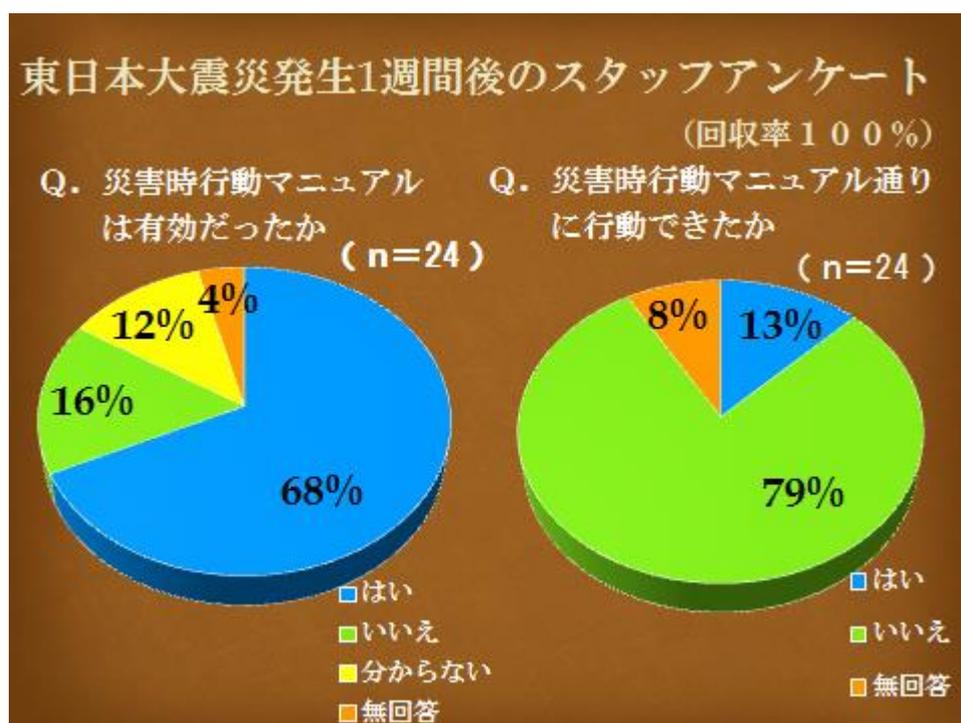


図-1

そこで災害時に緊急対応を効率よく行えるよう災害時アクションカード（以下カード）を作成、災害訓練時に使用して問題点を抽出し改善したので報告する。

対象・方法

当院スタッフ 33 名を対象とし、災害訓練実施時に職種別に作成したカードを使用して災害発生時から避難するまでの一連の流れの訓練を行い、後日アンケート調査を施行し問題点や使用方法を検討した。

結果

アンケートの結果、カードの使用は有効であるとの回答が 67%、改善が必要であるとの回答が 18%であった（図-2）。

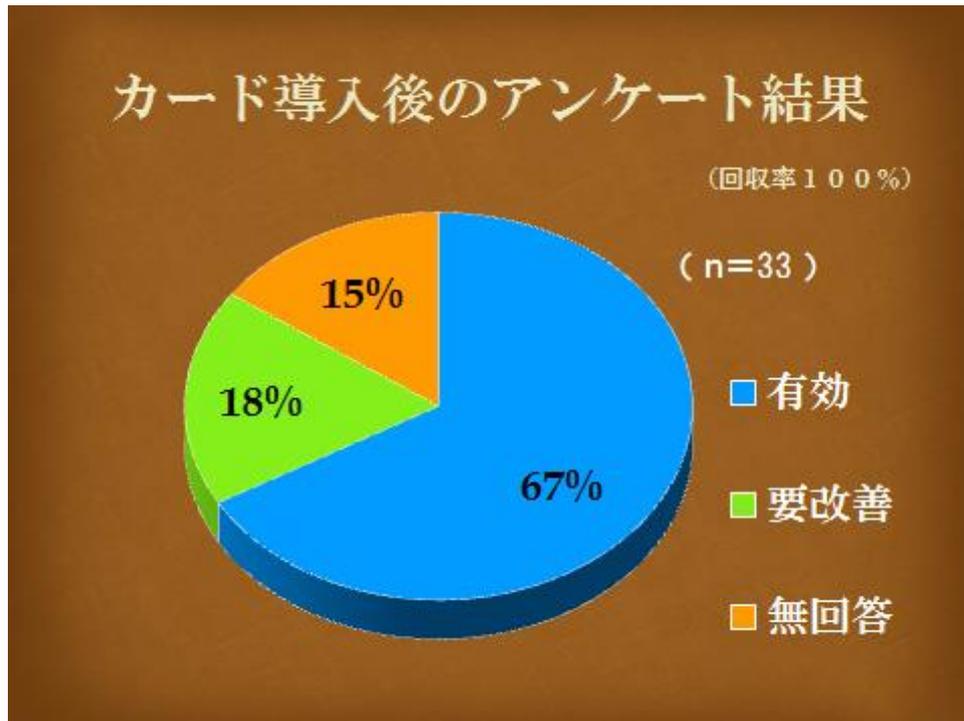


図-2

アンケート結果の詳細で有効と答えたスタッフからは「いざという時に分かりやすく良い」「何回も訓練すればもっと良くなる」等の意見があった。

改善が必要と答えたスタッフからは「災害マニュアルとカード内容の見直しが必要」(シフト別で行動が変わる可能性がある等)「もう少しコンパクトにしてほしい」等の意見があった。

考察

カードを作成、災害訓練時に使用してアンケート調査を行った結果、既存の災害対策マニュアルやカード自体の問題点を抽出し改善することができた。